

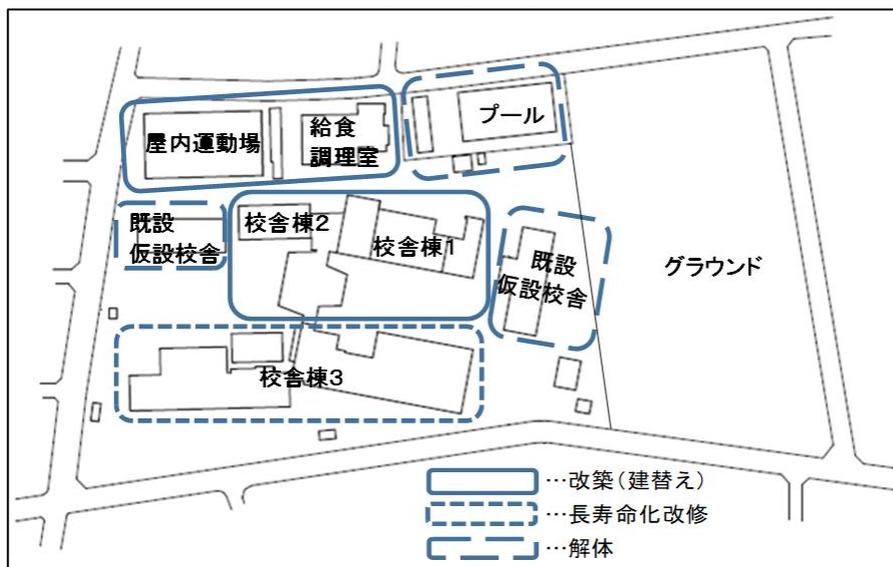
藤沢市立辻堂小学校改築事業 基本設計検討状況 中間説明会について

1. 再整備に向けた検討状況について

辻堂小学校は、整備計画に基づき、老朽化の解消、安全性の確保、教育環境の機能向上を図るため、施設全体の再整備事業の実施に向けて、令和5年度から令和7年度の3か年の予定で、基本実施設計業務を行っています。

整備計画では、配置図のとおり、屋内運動場、校舎棟1、校舎棟2は改築（建替え）を行い、校舎棟3は長寿命化改修を実施する整備手法としていましたが、建物の劣化状況調査の結果を踏まえ、計画どおりの整備手法で検討を進めることといたしました。

現在の辻堂小学校配置図



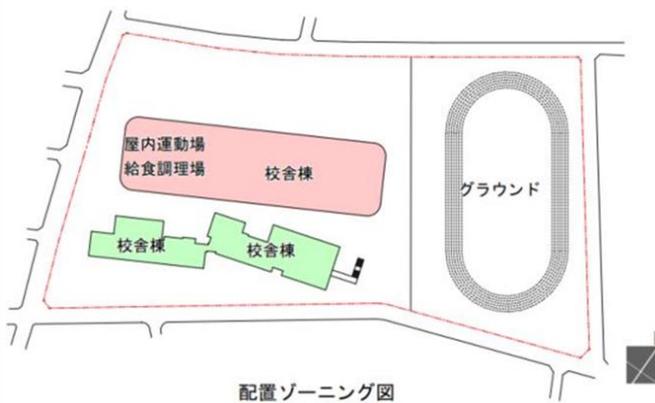
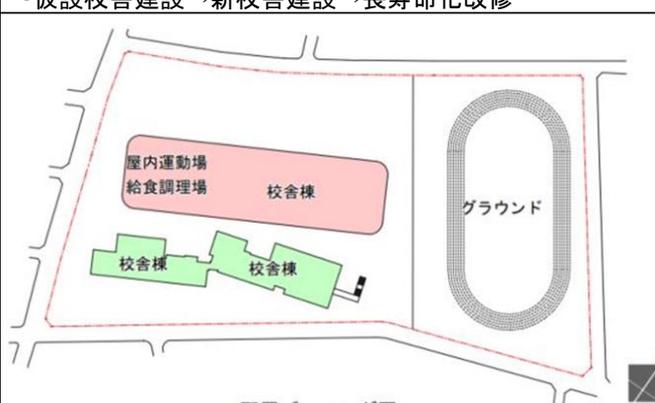
※説明会のお知らせは4ページをご覧ください

2. 整備方針案について

長寿命化改修を行う校舎棟3と新校舎は、動線上近くに配置する必要があり、動線等を踏まえ、次の3つの整備方針案を比較検討しています。

- A案** 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（大））
- B案** 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（小））
- C案** 校舎棟を既存のグラウンドに建替える案（仮設校舎なし）

3. 整備方針案ごとの配置ゾーニング図及び工事中ゾーニング図

<p>A案 — 校舎棟を現在の位置に建替える案(仮設校舎(大)) —</p> <p>■ 配置上の特徴 ・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さく、まとまりのある配置が可能</p> <p>■ 工事の流れ ・大きな仮設校舎建設→新校舎建設と長寿命化改修を同時に実施</p>	
 <p>配置ゾーニング図</p>	 <p>工事中ゾーニング図</p>
<p>B案 — 校舎棟を現在の位置に建替える案(仮設校舎(小)) —</p> <p>■ 配置上の特徴 ・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さく、まとまりのある配置が可能</p> <p>■ 工事の流れ ・仮設校舎建設→新校舎建設→長寿命化改修</p>	
 <p>配置ゾーニング図</p>	 <p>工事中ゾーニング図</p>
<p>C案 — 校舎棟を既存のグラウンドに建替える案(仮設校舎なし) —</p> <p>■ 配置上の特徴 ・校舎棟から児童の登下校やグラウンド活動など敷地全体を目視できるため、防犯・安全性が高い ・グラウンドの面積が現在よりも広く確保できる</p> <p>■ 工事の流れ ・新校舎建設→長寿命化改修</p>	
 <p>配置ゾーニング図</p>	 <p>工事中ゾーニング図</p>

4. 整備方針案ごとの比較表

これら3つの整備方針案につきまして、工事期間中、事業完了後、整備コスト、全体工期の項目別にメリット、デメリットを比較検討いたしました。

		A案	B案	C案
工事期間中	仮設校舎	△ ・既存校舎分の面積の仮設校舎が必要となる。 ・広いスペースが必要になる。	○ ・既存校舎の半分程度の面積の仮設校舎が必要となる。	◎ ・仮設校舎を設けない計画案。
	仮グラウンド	△ ・仮設校舎の建設が必要なため、広いスペースを確保することが難しい。	○ ・仮設校舎が必要となるが、A案よりも広いスペースが確保できる。	○ ・広いスペースを確保することが難しいが、広場も含め分散してスペースが確保できる。 ・仮グラウンドの期間が他2案に比べ短くなる。
	移転	△ ・仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要となる。	△ ・半数程度、仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要になる。もう半数程度は新校舎への移転が1回必要になる。	○ ・校舎棟3から新校舎への移転が1回、校舎棟1・2から改修完了後の校舎棟3への移転が1回必要になる。
	給食の配膳	△ ・仮設校舎及び校舎棟3への配膳が長く、また外部通路に出る必要がある。	△ ・仮設校舎及び校舎棟3への配膳が長く、また外部通路に出る必要がある。	○ ・校舎棟3の改修時には、新校舎から校舎棟1・2等への配膳が必要になるが、他2案に比べ、外部通路での配膳距離が短い。
事業完了後	生活環境	○ ・既存校舎の配置と大きく変わらず、まとまりのある配置が可能。	○ ・既存校舎の配置と大きく変わらず、まとまりのある配置が可能。	△ ・校舎が東西に長く、動線が長くなるため、南東部分に屋内運動場、特別教室を配置するなどの配慮が必要。
	グラウンド環境	△ ・現状とほぼ変わらない位置、面積となりあまり広くない。 ・日影の影響はほぼない。	△ ・現状とほぼ変わらない位置、面積となりあまり広くない。 ・日影の影響はほぼない。	○ ・面積としては、現状より広くとれる。 ・北側のグラウンドとなるため、新校舎や校舎棟3の日影の影響がある。
	周辺への影響	○ ・現状とほぼ変わらず、周辺環境への変化が小さい。	○ ・現状とほぼ変わらず、周辺環境への変化が小さい。	△ ・南東側から東側にかけて新校舎ができるため、日影・視線・音などの環境の変化がある。
整備コスト	△ ・大きな仮設校舎が必要。 (仮設校舎概算金額：約13億円)	○ ・A案と比べて小さな仮設校舎でよいいため、コストは9.5割程度となる。(仮設校舎概算金額：約10億円)	◎ ・仮設校舎の新設、解体が無い分、A案に比べてコストが8割程度となる。	
全体工期	○ ・仮設校舎の新築・解体が必要なため、工期が長くなる。(仮設校舎使用月数：約23カ月)	△ ・新校舎建設と長寿命化改修を分けて工事をするため、A案よりも3カ月程度全体の工期が長くなる。(仮設校舎使用月数：約30カ月)	◎ ・仮設校舎の新設、解体が無い分、A案に比べて工期が9カ月程度短くなる。	

5. 基本設計中間説明会の開催について

現段階の検討状況のご説明と、ご意見等をお聞きする場といたしまして、地域住民及び保護者のみなさまを対象とした説明会を次の日程で開催いたします。

お忙しい中恐縮ですが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

◇基本設計中間説明会◇

案内図

日時：2024年（令和6年）7月28日（日）
午前10時から

場所：辻堂小学校 屋内運動場（体育館）

※スリッパ等、上履きをご用意いただきますようお願いいたします。

※お車でのご来場はご遠慮ください。

※説明会での内容につきましては、改めて回覧にてご報告いたします。



今後とも、辻堂小学校改築事業へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

藤沢市教育委員会 教育部 学校施設課

TEL：0466(50)3557

藤沢市役所 計画建築部 公共建築課

TEL：0466(50)3540